

開催報告

土木学会平成 24 年度全国大会(第 67 回年次学術講演会) の報告

ユニチカ(株) 江崎 孝二

土木学会平成 24 年度全国大会が 2012 年 9 月 5 日(水)～7 日(金)の 3 日間、名古屋大学東山キャンパスを会場として開催されました。本会では、「地域の復興、日本の再生 ～土木工学が果たすべき役割～」をテーマとして、年次学術講演会、基調講演会、全体討論会、研究討論会、パネル展示、映画会のほか百周年記念討論会などが行われました。

基調講演では、「人・組織・技術の総合化で巨大災害に立ち向かう ―調査・提言から具現化の場へ―」との題目で、小野武彦氏(第 100 代土木学会会長)が講演されました。

特別講演では、「東日本大震災と復興」との題目で、五百旗頭真氏(復興庁復興推進委員会委員長)が講演されました。

全体討論会では、「巨大災害とどう向き合うか ―東海・東南海・南海地震への備え―」というテーマで討論がなされ、百周年記念討論会は「土木・土木技術者のこれまでを振り返る」「土木界・土木学会は、これまで何をしてきたか、これから何をすべきか」というテーマで開催されました。

第 67 回年次学術講演会では、7 部門、1 共通セッションに分かれ、約 3000 の講演が行われました。昨年に引き続き、地震、津波など災害に関する講演が多いように感じました。

そのほかにも交流会、土木コレクション 2012、国際関連行事などが開催され、盛会となりました。



図-1 年次学術講演会



図-2 会場の様子